

図書館だより

読書感想文コンクール



課題図書 3 冊のお知らせ

～書いてみようよ、自分の言葉で。～

今年度の、青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が決まりました。コンクールには、課題図書もしくは自由図書で応募することになっています。課題図書を読みたい場合は、図書館に一冊ずつ準備していますのでご利用ください。

夏休み直前は図書の貸出が非常に混み合うため、すでに希望の本が貸出中になってしまうこともあります。早い時期から計画的に読書感想文に取り組みましょう。

『タスキメシ』 額賀 濤：著 小学館

高校、大学で駅伝に青春をかける兄弟の物語です。大けがをして一線から退いた兄が調理実習部に転じ、才能はあるが偏食の弟を「メシ」で支えます。駅伝のタスキには、挫折や友情、みんなの熱い想いと汗が染み込んでいる。それはランナーだけでなく駅伝を支えるすべての人をつなぐもの。希望あふれる爽やか青春ストーリーです。

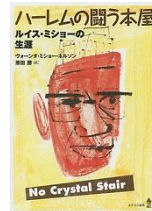


『ハーレムの闘う本屋〜ルイス・ミショーの生涯〜』

ヴォンダ・シヨ・ルツ：著 あすなろ書房

ニューヨークのハーレムにある一風変わった書店、通称「ミショーの店」。黒人に関する本ばかりを扱う書店です。本書は、書店主ルイス・ミショーのドキュメンタリー小説です。

1939 年「黒人は本を読まない」と言われていた時代に店をオープン。「知識こそ力」と信じていたミショーは、型破りなプロモーションを展開します。そのうち、本のおもしろさや知識の大切さを知った人々が、ミショーを慕って集うようになり、ついには全米一の黒人専門書店になります。



『シンドラーに救われた少年』 レオン・レイソン：著 河出書房新社

オスカー・シンドラーはナチス党员として自分の工場で安くユダヤ人を働かせていましたが、ユダヤ人虐殺という事実を知り、ユダヤ人を工場に匿い守った人として知られています。なぜシンドラーは自らを危険に晒してまでユダヤ人を救ったのでしょうか。シンドラーのリストに載ったことで救われた少年の証言をもとに書かれた実話です。



本の返却を忘れていませんか？

2 年生、3 年生で、昨年度に図書館から本を借りたまま、まだ返却していない生徒がいます。新しい年度になってもう 2 ヶ月が過ぎました。「授業で調べ物がしたいんだけど…」「上巻がなかなか返って来ないから下巻があっても読めない…」という、図書館利用者の声が多く寄せられています。図書館の本は、角高生みんなの本です。きちんと期限を守って、みんなが気持ちよく利用できるよう協力をお願いします。



「読みたい本」の希望まだまだ募集！

各クラスで行ってもらった、読みたい本の希望調査へのご協力ありがとうございました。7 月末に仙台の大型書店に行き、図書委員が本を選び、購入する予定です。今回の調査で希望があった本も購入する予定です。クラスでの希望調査に書き忘れた、読みたい本が新しく出てきたなどの場合は、まだ間に合いますので、図書館前のリクエスト箱に書いて入れてください。できるだけ生徒のみなさんの希望に添いたいと思いますので、よろしくお願いします。

6 月の図書館予定

通常開館の時間 9:00～17:00

(変更になる場合もありますので、図書館前の掲示板を確認してください。)

月	火	水	木	金
		1 通常開館	2 通常開館	3 通常開館
6 通常開館	7 振休(6/5) 休館	8 通常開館	9 通常開館	10 通常開館
13 通常開館	14 通常開館	15 通常開館	16 休館 【中間テスト】	17 通常開館
20 通常開館	21 通常開館	22 通常開館	23 通常開館	24 通常開館
27 通常開館	28 通常開館	29 通常開館	30 通常開館 【図書委員会・掲示係】	